

4 水戸日建工科専門学校

建築設計科2年

安掛 充

私は今回、昭和建設株式会社様のインターンシップに参加しました。インターンでは主に、現場見学や積算、測定の体験をしました。

1日目の午前には会社説明や安全面について、太陽光発電所の見学、午後には青山製作所の現場見学をしました。会社の説明では、昭和建設はどんな内容でどんな仕事を主にするか、安全面では現場で絶対にしてはいけないことなど、太陽光発電所の現場見学では、太陽光の使い道やどのように蓄積された電気を分け与えるかなど、色々と知ることができました。

午後の青山製作所見学では、初めに工場概要説明、写真管理の説明を体験しました。概要説明では、どのような構造、手順で現場が進められているかなど学び、その手順などを現場監督が覚え、それを作業する人に伝えるといったことが、建物を作るにあたり行われていて、覚えることも多く現場監督は大変な仕事だと思いました。写真管理の説明では、現場監督になったら最初に行う作業は、写真管理と教わりました。写真管理では、現場の作業がきちんと行われているかなどを写真に収め、それを保存しておくといった作業をされていて写真管理はとても重要なものだと思います。

2日目の午前には県央アスコン工場、日立物流の現場見学、測定体験をして、午後には職長会議、積算業務の体験をしました。アスコンでは、コンクリートの作り方、作業の流れを知ることができました。日立物流では、構造を見せてもらい日立物流の倉庫はどのように建てられているか、そして測定体験では現場での測定のはかり方を教えてもらい、どのような時に測定

を現場で使うかなど学ぶことができました。

午後の職長会議体験では、体験する前はたくさんの方が集まり真剣に話し合う物かと想像していたが、実際に体験してみたら思っていたより少数で話し合っていて「けが人は出たか」「現場は手順通り進んでいるか」などを話しており、貴重な体験ができてとてもよかったです。積算ではパソコンを使っていて手作業で計算するものだと思っていたので、パソコンで体験した時とても楽なものだと感じました。

3日目の午前には旭保育園の現場見学、午後には設計課でのCAD体験をしました。旭保育園では鉄筋の定着作業中で実際に作業の現場を見学できてとても良い体験ができ、鉄筋の定着平面図なども見られてよかったです。CAD体験では初めて3DCADを使用してみて便利なものだと感じました。

3日間のインターンシップを通して私は、建築に対しての興味や建築はどんな仕事をするかなど色々知ることができたのでインターンシップに参加でき、いろいろなことをたくさん知れたのでとても良い体験ができたと思いました。

(昭和建設株での実習)

建築設計科2年

井上 翔斗

今回インターンシップでお世話になったところは株木建設株式会社様です。このインターンシップでは、建築業界で働いたときに役立つことや体験をさせていただいたとき建設業界を深く知ることができました。

インターン1日目には、株木建設社内にて建設業でどのようなことをしているのか、現場監督の仕事内容や大変なことや、図面の書き方など建設業の様々なことをパワーポイントや資料などで丁寧に教えていただいて、2日目からの

現場見学会の見るときの視野が広がり色々なことをよく見ることができました。

2日目の現場見学では、看護専門学校の別校舎の増築現場を見に行きました。ここでは普通に作業しているだけでなく、本校舎で勉強なさっている方々の迷惑にならないように騒音をできる限り減らしていたり、間違っただけで入らないようにバリケードをしておいたりして、学生さんたちを気遣う工夫をされていて、優しくとても素晴らしいことだなと感じ、思いやりなども大事だという事がわかりました。

3日目はとても大きな建設現場を見に行きました。そこではまだたくさんの作業があり、職人の方々がテキパキ働いていて、とても忙しそうでした。そんな中でも見学のときには優しく対応していただきありがたかったです。昼礼の時間も見せていただき、そこでは現場監督の方が職人の方々と現在行っている業務や現状、これからを話し合い、まとめ上げたりしていました。この昼礼によって皆が一丸となって作り上げている感じがしていて、この様なことがとても大事だという事がわかりました。

このインターンシップを通じて学んだことをこれからの自分に役立てられるように頑張っていきたいと思います。(株木建設㈱での実習)

建築設計科2年

飯塚 彩

私は10/7にコスモ総合建設株式会社様にインターンシップに行きました。その日は朝から現場にて見学をさせていただきました。その1日で感じたことは現場監督の仕事を就くには沢山の知識が必要な上、現場の状況を常に把握しておかなければいけないのだと感じました。今回城里町のごみ処理施設の工事現場を見学させて頂き、自分が想像している以上の鉄筋の量

だったり、1つの同じ建物なのに鉄骨造の場所と鉄筋コンクリート造の場所があったり、それぞれの場所で沢山の職人たちが仕事をしていての案内をして頂いた際に、現場監督の方はすべて把握していて、現場監督がいなければその現場は回らない可能性もあるのだらうと思いました。

また、現場の設計図書を見せて頂き図面の量に驚きました。私が意匠設計だけでもすごいページで建物を一つ作るのに、本当に細かい所一つ一つの図面があることで建物が出来ているのだと思いました。

今回は1日しか参加出来なかったですが1日だけでも学ぶことはあったので、もう少し学べたらよかったと思いました。

(コスモ総合建設㈱での実習)

建築設計科2年

梶山 勇太

今回、東康建設工業株式会社様で3日間のインターンシップを行いました。東康建設工業様をインターンシップ先に選んだ理由は、大きく分けて二つあります。1つ目は、家から近くの建設会社に就職したいと思い、選ばせていただきました。現場監督の仕事は朝早く、夜遅いイメージがあり、家から近い建設会社に就職するという思いがありました。2つ目の理由は、住んでいる地域で一番大きな規模の建設会社だったからです。東海村に住んでいる人なら知らないくらい、有名な建設会社であり、地元で毎日のように東康建設工業様の車や、重機を見ていて、大きな会社であり、地域貢献をしている、地元から愛されている会社です。

インターンシップ前は緊張をしていました。インターンシップ1日目から、皆さん本当に優しく、丁寧に物事を教えてくれました。車に乗

り、東海村の多くの現場を周り、どのような工事をして、これからどのように良くなっていくのか等、これから東海村が暮らしやすく、便利になる事を考えると、とてもワクワクし楽しかったです。現場を回る途中でも、この場所を建てた事や、道路の整備、公園の整備など地元 of 多くの場所に携わっており、それと同時に仕事として残っている物だから、鮮明に覚えておられて、やりがいのある仕事だと思いました。他にも、どのように仕事を受けるか、資格を受ける事に対する、勉強時間の確保や、交通費の負担など、人材育成にも力を入れている事を教えていただきました。インターンシップを終えて、建築関係の多くの事を知ることが出来ました。

(東康建設工業(株)にて実習)

建築設計科2年

亀山拓哉

令和2年10月7日～10月9日の3日間にインターンシップを行いました。

まず、朝は7時50分に集合ということで、いつもの学校より早い時間に集合だったので少し大変でした。会社に着いてからは、まずミーティングと自己紹介などをしました。終わってからは、稲敷郡阿見町のリーデン筑波事業所倉庫増築工事の現場を見学しました。そして倉庫周りに足場が建てられていて、足場を登って職人さん達がやっている作業の途中経過を見ることが出来ました。午後は測量実習をやりました。レベルとトランシットを使いました。

2日目は、午前中に行方市の老人ホームの増築工事を見学しました。そこでは施工図と平面図を見せてもらいました。次に墨出し作業をやらせてもらいました。はじめてのことだったので最初は難しく思いました。その後、作業を途中までにして昼食をとりました。昼食が終わっ

てからは、作業の打ち合わせを視察させてもらいました。打ち合わせの雰囲気はすごかったです。そして墨だし作業の続きを行いました。午前よりは少し慣れてきてスラスラできました。

3日目は会社説明をしてもらいました。会社説明では鈴縫工業の歴史をビデオで見せてもらい、すごく興味が深まりました。鈴縫工業では、会社の人たちを考えた方針があり、とても素晴らしいと思いました。会社説明が終わってからは、東海の不動産現場見学がなくなり、午後一に行く予定の日立市の改修工事を見学しました。日立での改修工事職人さん達の作業を見られました。細かい作業や工具を使って作業していたので、すごかったです。その日のお昼は吉久保さんにごちそうになりました。すごくおいしかったです。最後に会社に戻って自分が会社について質問しました。私は現場監督にあまり興味がなかったのですが、インターンシップに参加してみて興味が湧きました。

私は進学するので就職はまだ決めていないのですが、後々決めないといけないので鈴縫工業様に就職したいと思いました。

(鈴縫工業(株)にて実習)

建築設計科2年

菊池梓真

インターンに参加して私は多くのことを学んだ。

私は昭和建設株式会社様にお邪魔させてもらった。社内の雰囲気はとても良く、将来務めるならこのような雰囲気の企業に勤めたいと思った。

朝は8時30分から本社に出社している社員全員でのラジオ体操から始まった。ラジオ体操をするなんて古臭いと思っていたが、いざ終わってみると早起きして気怠くなっていた体が

スッキリとしていた。それまで古臭いと思っていた自分が恥ずかしくなった。

1日目はまず研修室で現場ではしてはいけないことやマナーをビデオで見て学んだ。施工管理の仕事内容も分かりやすく解説していて、現場への理解が少し深まった。

午後は工場の建設現場の見学をさせてもらった。建設している現場を間近で見るのは初めてで、実際に働いている人に話してもらったり、仕事しているところを見学させてもらったりと、いつも授業で座って話を聞くよりも何倍も多くのことを学ぶことができた。中でも私が面白いと思ったことは、写真を撮るとい施工管理の仕事である。この仕事は検査の際に実際に仕事をしたよ、手抜きはしていませんよ、という証明に必要なのでことあるごとに写真を撮らなくてはいけないそうだ。日本はこの仕事が厳しく敷かれており、めったに欠陥は見つからないそうだが、アメリカや中国ではこの仕事を省いてしまう事があるらしく、そのせいで欠陥が見つかってしまうのだと聞いた。

2日目はアスファルト工場の見学に行かせてもらった。この日はあいにくの雨で工場の稼働はしていなかったが、アスファルトがどういった素材でできているのか、どういった種類で、どう使い分けているのかなど多くのことを学んだ。

3日目は保育園の建設現場見学をさせてもらった。この日も雨ではあったが現場の人たちは気にすることなくキリキリと働いていた。ここでは施工図や鉄筋の配置図など沢山の図面を見せてもらい、読み方も教えてもらえた。施工図は1枚で多額のお金がかかっていることを知った。おまけで鉄筋配置図の1部をコピーしてもらった。私は卒業設計に学校の再利用を考えているので何か参考にできたらと思った。

3日間インターンに参加して私はとても多く

のことを学んだ。授業ではわからなかったことが今回のインターンで沢山学べたので3日間を無駄にすることなく過ごせた。それと同時に現場を知ることはとても大事であることに気付くことができた。 (昭和建設(株)にて実習)

建築設計科2年

草野 凌

私は常総開発工業株式会社様にインターンシップに行きました。

1日目は本社に集合し、挨拶をしました。それから現場に行くための注意事項を詳細に説明してもらいました。それは、足場を気にしながら歩くことや重機の下には行かないということでした。

2日目は新島中学校で現場を見て回りました。そこでは最初に現場の説明を受けてそれから職人の方々と工事のことなどを話しました。それは、現在行っている工事のことを詳しく説明してもらいました。その工事とは、中学校の改装がメインで説明を受けることが出来ました。昼過ぎから職人の方々と現場の中で壁がなく話すことが出来ました。

午後は、最初に墨出しを自分たちに経験させてもらいました。それと、測量も経験させてもらいました。測量は、学校で実習として経験していたのである程度分かりました。その後、現場の安全確認をしました。

3日目は2日目と同様に墨出しと測量を体験しました。測量では窓の開口部の高さを図りました。次に墨出しでは、鉄筋を墨出しさせてもらいました。

これらをインターンシップで経験して、現場監督になりたいと思いました。まずは、2級建築士の資格をとることを目標に頑張りたいです。

(常総開発工業(株)にて実習)

黒羽 永遠

まず、10月7日から9日までの3日間インターンシップを計画して頂いてありがとうございます。

1日目は、担当の澤島さんの車に乗せて頂き、過去に東康建設工業が手掛けた建築・建造物を見て回り、原発の前の道路の拡張工事の現場を見学させて頂きました。道路を拡張するため、その道路が使えなくなってしまうので、迂回路を作る工事を見せて頂きました。

2日目は、原電の中に入れて頂き、中の建物の用途や道案内をして頂きました。本来ならば関係者でも入ることが難しい程の厳重な警備で、自分たちでは現場を見せて頂くどころか、中に入ることにすら本来は無理でした。しかし、自宅から保険証や住民票、パスワードを持参してくれば特別に中に入れて貰えるように、事前に関係者の方々に取り合ってくれていたおかげで中に入ることができました。

原電は正確には、原電エンジニアリングというところで、建物の撤去工事を目の前で見させていただきました。担当の方が現場監督だったので直接重機を動かしたりしたわけではないですが、実際に重機を動かしていた方に注意喚起をしたり、見回りの方々に進行状況の説明や体調を気遣う声をかけたりと1つの事だけではなく、たくさんのことを意識していました。原電の中を案内頂いた時は、ものすごい数の人と重機で溢れかえっていて、1番印象に残ったのが原電内の敷地の広さでした。海までの距離も思っていたよりも遠く、迷子になるレベルの広さでとても驚きました。

3日目は245のジョイフルホンダまでの道を2車線から4車線にするための工事を見学させていただきました。1日目と同じく通行止めに

は出来ないなので、横に仮の道路を作りその上を走ってもらっている間に、元の道路を4車線にすると、教えて頂きました。

この3日間で、普段では経験できない事を見て学び体験することができ、お世話になった方々がとても優しく教えて、話しかけて頂き優しく充実した3日間になりました。このような貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございます。
(東康建設工業(株)にて実習)

篠原 由龍

私は10月7日～10月9日の間、東康建設工業株式会社様でインターンシップをしてまいりました。私にとってこの3日間は、とても濃く、充実したインターンシップでした。

まず、1日目は東康建設工業が過去に請け負った現場の説明を受け、その次に現在請け負っている現場の説明を受けながら実際に現場の方に足を運びました。東康建設工業が請け負っている数はとても多く、その現場ごとに社員さん方がおり、仕事の楽しさ、つらさ、やりがいを知ることができました。

2日目の午前は交流センターの改築工事の見学、午後は原電の見学をしました。交流センターの改築工事では、建物全体の見学だけでなく体育館の屋根に登って屋根の溶接作業を見学しました。その溶接作業では女性の方も作業されていてかっこよかったです。

午後は、原電の見学をしてきました。原電では本当に多くのエンジニアが出入りしていて、その現場で働いている人に話を聞くと、大手から下請けまで業界のほぼ全ての会社が原電で仕事をしていると聞き、私は地元の者ですが、近くにこんなに素晴らしい所があると知り驚愕しました。その後、東康建設工業の社員さんだけ

でなく、原電で働くエンジニアの方達に話を聞く機会があり、コミュニケーションの大切さや、仕事の厳しさを聞くことが出来ました。

3日目は、橋の工事の見学、体験、関東の施工管理で様々な功績を残した方にお話を聞きました。まず、橋の概要やどの様な橋を作っているか話を聞き、その後ハーネスを装着して、橋に生コンの打ち込み作業を見学しました。生コン打ち込みをインターンシップで見られるとは思わなかったので見られて良かったです。体験では、ハッカーと結束線を使って鉄筋の結束する体験をしました。

インターンを通して現場の実際の声などを聞いてとてもためになった3日間でした。学んだこと、経験したことをこれからの人生に役立てていきたいと思えます。

(東康建設工業(株)にて実習)

建築設計科2年

田 中 大 地

今回のインターンシップで学べたことは2つあります。1つは、施工について知識を得られたこと。もう1つは、建築業界の仕組みを知れたことです。

現場を見て、説明を受け、質問にも答えてもらい、施工についての知識が大幅に広がった。今回見た現場は、製麺所で2×4工法という特殊な構造だった。授業で聞いたことはあったが、全くイメージできず、名前しか知らなかった。この工法は壁がパネルで現場に運ばれてきて、私がインターンシップに行っている間の、1～2日で壁が組みあがってしまいとても驚いた。というのも、普通の木造軸組工法では、数週間かかるものだと思っていたので、すごい工法だと思った。他には、レベルやトランシットを実際に使わせてもらった。学校でも使い方は

習ったが、現場で使用目的も合わせて教えてもらうことは、印象深く、忘れないと思う。現場で施工の授業が出来たら、イメージ出来て勉強になるし、楽しいと思う。

現場見学のほかに、1級建築士の方の設計した住宅を見に行き、設計者さんの話を聞いた。その住宅に対するこだわりや、1級建築士取得までの話を聞いた。とにかく建築へのこだわりが強く、自分にはない熱量を持っていた。設計者になりたいと思ってはいたけれど、正直敵わないし羨ましいと思う。また2日目は雨で、現場の課長さんに建築業界について話を聞いた。自分の知らない仕事や職業、事務所を知れて、選択肢が広がった。建築業界に関わる仕事はたくさんあるので、もう1度自分は何がしたいのか考えるいい機会になった。

インターンの体験を活かし、就職に向けて真剣に考え、成り行きで就職先が決まらないように自分の意志を持って動いていきたい。

(株関根工務店にて実習)

建築設計科2年

塚 原 竜太郎

インターンシップで私は昭和建設株式会社様に行きました。会社に着いたら自分たちが待機する部屋に案内してもらいました。社内はとても綺麗でした。そして、インターンシップが始まると、まず初めにラジオ体操でした。それが終わると社訓を1人が読み上げ、それをみんなで復唱するということをしていました。安全に作業を行う事と何事もお客様の事を考えていることがわかりました。

見学では1日目太陽光発電所、工場の現場に行き、2日目は県央共同アスファルトコンクリート工場、日立物流の工場をたてている現場に行き、3日目は保育園の現場に行かせてもら

いました。そこでは、初めて見る建物の基礎を作っていたり、授業で聞いたことのある壁などをコンクリートで塗ったりしている作業など見学でき、現場の面白さと大変さがよくわかりました。見ているだけで勉強にもなりました。現場以外にも社内で昭和建設の建物ができるまでの流れを見せてもらい、見積課という所で積算業務について積算のことを教えてもらいました。他にも設計課では会社で使っているすごいソフトでCAD体験させてもらったりしました。現場以外の実習でも会社の働き方や建築の難しさを学ぶことができました。

インターンシップ後は基礎の作りがよくわかり、施工の勉強がとても分かるようになりました。まだ自分にはない知識がたくさんあることにも気づきました。インターンシップでは普段学校ではできないような体験ができ、とても良い経験でした。この経験を活かし施工管理のことをもっと勉強し、現場に出た時少しでも早く仕事ができるようにしたいと思います。

(昭和建設㈱にて実習)

建築設計科2年

手塚七瀬

まずこの3日間、ほぼ素人の私たちを迷惑なものにも気かけず現場を体験させてくださった株式会社岡部工務店様には感謝の言葉でいっぱいだ。

1日目は、午前9時に岡部工務店本社に向かい、これからの3日間どんな体験をする予定なのか、または岡部工務店がどのような会社なのかという説明を受け、これから入る現場の建物の平面図や立面図を拝見した。それから昼食を食べ、現場に向かった。現場に着き現場での注意事項を受け、現場監督である中林さんの指導の下現場の中を見学した。私たちから現場につ

いてのわからないことを質問し、現場でしかわからないことも詳細に教えていただいた。

2日目は、足場には様々な種類があり、足場の設計図を書かなければいけないことや管理者なりの仕事への取り組み方など、目から鱗な情報を教えてもらった。また、職人さんと話をさせてもらって、職人さん視点の仕事への喜びや悩みを聞くことが出来た。午後には施工管理者という仕事に関して、これまでどんな経験をしてどんな建物を建てたのかを赤裸々におっしゃられて、とても貴重な話を聞いた。

3日目は、報告書のための写真を撮り、施工管理者はこんなこともするのかと驚いた。また、墨引きを体験させてもらい、教科書の中でしか見聞きしていなかったことを実際にやったことで、さらに理解が深まった。また、今は墨引きもデジタル化が進んでいてレーザーで墨引き出来るようになっていて、とても感心した。

私は将来、意匠設計の道に進もうと思っているが、この経験はとても大きなものになると思う。

(㈱岡部工務店にて実習)

建築設計科2年

寺門林紀

私はインターンシップで藤井建設株式会社様に行きました。インターンシップでは、藤井建設の会社概要や取り組み、建設業の仕組み、現場の動きなど色々なことを学びました。

1日目には、まず会社の朝の朝礼に参加しました。朝の朝礼で会長、社長、社員の方々がいる前で大きな声で自己紹介をする課題を出されました。これまでそういった状況で人前に立ち、自己紹介をすることが無かったので、何度も練習して、初日からかなり緊張しましたが、良い経験をさせていただきました。その朝礼の中で、藤井建設で決まっている本を、社員の中

で挙手した人が音読をして、挙手した人が感想を言う、挙手が無かった場合、部長が選んだ人が言う、取り組みをしていました。朝から、人の話をちゃんと聞く力がないと出来ないの、私はまだ挙手することは出来ませんでした。社会人としての意識の違いに気付きました。

2日目は、躯体工事の現場研修に行かせていただきました。建設業の中でも躯体工事は実際どのような作業を行っているのか、まったくわからなかったの、楽しみでした。実際行ってみると、規模が広く、鉄筋が多く衝撃を受けました。見たことが無い作業が多く、未知の世界で働かないとわからないと思いました。施工検討会というものも見学させていただきました。現場責任者が工事の進み具合とこれからの計画のことをプレゼンして、社長、部長と検討していく会議でした。その中で責任者が社長に怒られて、それに対して責任者が理屈の通っている反論を返したりしていました。自分には意味も分からなく、難しかったです。でも、いつも屁理屈でしか反論できない私は子供だと思いました。

3日目は色々な建設会社が合同に行っている、規模の大きい現場を見学させていただきました。複数の会社と工期に合わせた計画をたてる現場監督の人はカッコいいし、大変だなと思いました。

この3日間のインターンシップで多くを学びました。
(藤井建設(株)にて実習)

建築設計科2年

飛 田 玲

株式会社大貫工務店様に建設業インターンシップに参加させてもらったことで、思ったことがあります。それは、改めて建設業は「面白いな」と思いました。私は高校の時に現場見学

に行ったことがあります、やはり「規模」が違いました。

1日目は、「大貫工務店のビデオ鑑賞・会社説明」と「五月女生コン水戸工場の工場見学」に行きました。まず、生コンの工場はよく見かけていましたが、工場の中までは見たことがありませんでした。まず、中に入って思ったことが一つ一つの規模が大きいと思いました。細骨材や粗骨材の量を見ても、ものすごく大量にありコンクリート車もものすごい台数が止まっていました。さらに、テストピースを保管している部屋や、圧縮機が置いてある部屋にも案内してくださいました。目の前で圧縮試験や、スランプ試験、空気量も実際にやっていただきました。

2日目は、「湊大橋付帯工事の材料検査」と「小川文化センター耐震・改修工事」の現場見学に行きました。まず湊大橋の材料検査は、本当でしたら直接その工場まで出向いて検査を行うのですが、今のご時世でオンラインという新しい試みで行っていて、その検査の立ち会いをさせていただきました。やはり、オンラインという難しさがある中、無事に最後まで終わりました。見ていてやはり材料検査などは直接見るべきだと思いました。次に、小川文化センターに現場見学に行きました。見学させていただいたのは、大ホールの天井の耐震工事を見学させていただきました。そこでは、もう天井ボードが張り終えていたので、作業の検査の見学をさせていただきました。検査では天井まである足場を上がりました。初め、建物の中に入った時目に入ったのがものすごい足場の数と大きさでした。足場を登り天井まで行き、耐震の説明を受けている時に思ったことが、天井の端を少しだけあけて隙間を設けることで揺れを吸収すると聞いた時そんな少しのことをするだけで天井が落ちにくくなるのだと思いました。

3日目は、「大洗ビーチテニスクラブ増築工事」と「住宅工事・大貫ハウス住宅展示場」の現場見学に行きました。午前、大洗ビーチテニスクラブに行き増築するところに建物が建つので、そこには基礎ができていて墨だしをしていました。そこでは、鉄筋を固定する作業をさせていただきました。難しかったが楽しくやらせてもらいました。午後は、住宅工事の見学をしました。その住宅は平屋で、片流れでした。中に入ると現場監督さんが部材やその住宅にある特殊な部材を説明してくださいました。次に大貫ハウスの住宅展示場に行きました。やはり展示場ということもあり一般住宅より大きく色々なフローリングや壁紙がありました。大貫ハウスさんは自由設計を主流としていて、今までやってきた住宅をみると様々な家の形やテーマが違い見えてとても楽しかったです。

大貫工務店にインターンシップに行けてとても楽しく、勉強になりました。ありがとうございました。
(株)大貫工務店にて実習)

建築設計科2年

富山和希

今回インターンシップに参加してみて思ったことや学んだことがありました。

私は株式会社葵建設工業様に行きました。1日目の午前は、会社の説明などをしてから葵建設工業が施工した建物を歩いて見て回りました。午後からは上伊勢畑取水・浄水場の現場を見学しました。建物訪問ツアーでは、5件の実績を見学して、タイルの貼り方や自分たちも普段目にしているけれど、気にしてみないような所を見て「ここが気持ち悪い」とか「ここはこうできた」などを話して「こんなところまで見ているのか」と、すごく印象的でした。午後の現場見学は車で移動したので、車内で会社の

ことなど、色々なことを話して楽しかったです。現場自体は小さい現場だったけれど、大体の流れやインターンシップに行く前よりイメージできてよかったです

2日目は、午前中に内外装のサンプルと素面を使った現場監督の打ち合わせ内容を学習しました。内外装の仕上げ材とか全然聞いたことのないような単語が沢山出てきて、とても難しかったけれど、わかりやすく細かく教えてくれたので、楽しく勉強できました。午後に午前中に勉強したことを直接目で確認しに行きました。午前中のお話だけではどんな物なのかイメージしにくいところもあつたりしたけれど、直接見ることですらに理解することができました。

3日目は、社会人の対話を知ろうというコミュニケーションの勉強をしました。建設業だけでなく、人と人の対話は必ずあることなので、会話の大切さ・言葉の使い方など気にして対話をしようと思いました。

最後に、私は設計志望でいたが今回のインターンシップに参加してみて、現場監督の印象が変わって楽しそうだと思い、建築のことを1番知っているのは現場監督だと言われて、そこに魅力を感じ、現場監督もやりたいと思うきっかけになりました。これからは自分も建物の細かい部分まで見て、もっと建築のことを知ろうと思いました。
(株)葵建設工業にて実習)

建築設計科2年

長瀬真弥

今回、私は鈴縫工業株式会社様に3日間お世話になりました。その3日間の中で3つ現場を見学させていただきました。

まず1日目には、稲敷郡阿見町にあるリーデントくば事業所の倉庫の建設現場に行き、そこではS造で建築面積2180㎡の現場を見せても

らった。現場では、レベルやトランシットの測量実習体験をさせていただき、実際に現場の方に教わったのは良い体験でした。

2日目は、特別養護老人ホームきたうらの増築工事を見学させていただいた。ここの建築面積は、1308.6㎡で、地上2階建て、RC造の建築物だった。そこでは墨出しを体験させてもらい、お昼の時間には作業の打ち合わせに参加させてもらい、実際の打ち合わせがどのようなものか、見学することが出来てよかった。

3日目には、日立市の改修作業の現場を見学させてもらい、そこでは壁の中や仕上げをしていく過程を見ることが出来たのでとても良かった。

このインターンシップを通して、普段学校では座学でしか聞いていなかったことが現場で見ることができ、学校でやっていることが深く理解できた。他には現場監督の方の話聞くことができ、実際現場監督がどのような作業をするのか細かい部分を聞くことができ、今後の就職に役立てていこうと思った。3日間を通して、自分が現在、将来就職するにあたってどのような方向に進むか悩んでいて、インターンシップに参加させてもらって実際に現場監督という仕事がどのようなものなのか、実際に働いている方の話や、現場での作業を間近で見ることができ、とても良いインターンシップだったと感じています。この参加した経験を活かし、就職や将来の人生に繋がるようにしていきたいです。

(鈴縫工業㈱にて実習)

建築設計科2年

原 田 歩

私はインターンシップを通して、様々なことを学びました。

1日目は、実際の設計図書を見せてもらいました。その中には、普段私たちが勉強している製図や構造などに比べると、ものすごく細かく、さらに丁寧に書かれていました。それを見たときに思ったことは、現在専門学校で勉強している事というのは、知っているのは当たり前で建築業界にとっては、基本中の基本に過ぎないということを感じ知らされました。

2日目はまず、ビジネスマナーについて教えていただきました。身だしなみや言葉使いも細かく、例えば先輩やお客様に対しての1人称は、「俺」はありえなく、なるべく「私」を使ったほうが、断然いいことを教わりました。ビジネスマナーについては、今からでも意識できることなので、気を付けたいと思いました。次に教わったのは、CADです。CADは普段から使っているのですが、教わることはあまりないと思いましたが、専門学校では教えてくれないような裏技やショートカットを教わり、卒業設計での時間短縮に活かしたいと思いました。2日目最後は、現場を見学させてもらいました。あいにくの雨だったのですが、中々見ることができないものを見ることができてよかったです。

3日目は、会社の中の電気設備や換気設備を見せてもらいました。授業では、文章または簡単な絵でしか見ることができなかったので、実際に見ながらどの様に動いているかを教えてもらってすごくためになりました。

インターンシップを通して学んだのは、建築業の楽しさだけでなく、大変さや厳しさを教えてもらって、学んだことをこれから活かそうと思いました。

(常総開発工業㈱にて実習)

建築設計科2年

伏見典洋

私は株式会社浅川建設様のインターンシップに行きました。

1日目は、若葉園通所棟新築工事の現場見学に行きました。工事は始まったばかりで建物の基礎部分が出来上がっている状況でした。そこで入社3年目の私と同じくらいの年代の現場監督見習いの人の色々な話が聞けて良かったです。1日目の午後は、後台浄水場地下水系施設改良工事の現場見学に行きました。浄水場の水槽の高さは高く、職人の方々が声を掛け合い協力していました。現場監督の方は安全確認の見回り工事の指導をしている姿を見てカッコいいと思いました。

2日目は、一般住宅の現場に行きました。平面図を見ながら中をまわりました。学校で習ったものがたくさん出てきて、かなり理解しながらまわることができました。2日目の午後は、浅川建設の設計者による設計業務の説明を受けました。設計者は法規や材料を頭に入れて、設計し図面を書かなければならない。そして、施工管理者や現場監督も設計者から受けとった図面を理解し指導する。設計者との連携も重要だと学びました。

3日目は、水城高校小伊吹寮新築工事の現場見学に行きました。その現場監督の方は、設計者から受け取った図面を手直ししていました。理由を尋ねてみると、実際の現場とのギャップに気づき、設計者と相談して修正したと説明してくれて、機転を利かして、よりよい建物を作っていくのが凄いと感じました。3日目の午後は、積算についての説明を受けました。積算は材料の長さ、個数などを計算して発注をするのでミスが許されないのが重要だと言っていました。

最後に、このインターンシップを通して、建築に携わる人は責任感と協力が大切だと感じました。今後の就職活動に活かせると思いました。

(株浅川建設にて実習)

建築設計科2年

前海斗

私はインターンシップを通して、様々なことを学ぶことができ、その事を今後活かしていきたいと思うことが出来ました。

例としてあげると、1日目ではレベル測量のやり方、そして学校では学ばないCADにより足場の図面の作成です。レベル測量では高低差や、途中で遮蔽物があつて直接図れない場合の測り方等、様々な実践的知識を教わることができ、これは今後自分が働く際に大変役に立つ知識であると思いました。そしてCADによる足場の図面の作成。これは学校で学んだことがなかったもので、最初はあまり理解できませんでしたが、担当してくださった社員の方からの助言を聞き、あまり良い出来ではありませんでしたが今後役に立つ大変有意義なものであったと思います。

2日目は大三工業様という企業に赴き、溶接及びトランシット測定の体験をしました。溶接では、大変巨大な鉄骨の溶接の瞬間を拝見し、更に溶接の体験をさせて頂きました。今後設計士又は現場監督等の業務に着いた際に鉄骨を実際に見たことがあるか否かではスケール感に大きな差が産まれると思い、大変貴重な時間を過ごせたと感じます。トランシット測定では最新の機械を使用した測定を体験し、実際に使われる測定がどのようなものか、どのような操作方法であるかなど、様々なことを学べたと思います。

3日目は、今までに多賀土木様が手がけた建

建築物の見学をさせて頂きました。日立港、保育施設、市役所、霊園当様々な地を巡り、どのような建築物をどのように作ったのか、どのようなものを作っているのか等様々なことを教わりました。

最後に3日間様々なことを体験させて頂き大変ありがとうございました。私個人としては、この時間は千金にも値するものであったと感じ、貴重な時間を割いてくださって学びさせていただいたこの体験を今後の人生にも活かしていきたいと思います。(多賀土木(株)にて実習)

建築設計科2年

松本 瑠夏

私は今回、株式会社秋山工務店様のインターンシップに行かせて頂きました。

初日はアネージュ石川プレイヴのマンション新築工事の見学をしました。型枠大工さんや墨出しの職人さんなどたくさんの職人さんの仕事風景を見て、みなさん決められた仕事をテキパキとこなしていてとても驚きました。また、マンションにはボイドスラブ工法を使用しており、この工法は高い剛性と遮音性があることを初めて知り、とても勉強になりました。

2日目は瓜連体育館の改修工事、茨城トヨタ日立店の新築工事、東海の歴史と未来の交流館建設工事の見学をさせて頂きました。RC造、鉄骨造など、違いを実際に見ることができ、授業では分からなかったことを自分の目で確かめることができたのでとても嬉しかったです。

3日目は、墨出し体験とマンションの中間検査の立ち会いをさせて頂きました。墨出し体験は意外と難しく、墨出し職人さんは手際良く墨出しをしていたので素晴らしいなと感じました。墨出しですべてが決まるともおっしゃっていたのでかっこいいなと思いました。中間検査

は緊張感があり、水戸日建工科の卒業生の監督さんが検査を素早くこなしているのを見て驚き、感銘を受けました。私もこのようにかっこいい先輩になりたいなと強く思いました。

今回、現場見学で感じたことはそれぞれの現場ごとに雰囲気は全く違い、現場監督さんの雰囲気づくりがとても大事なのだということです。秋山工務店の監督さんはみなさん明るくて職人さんに対する思いやりがとても強いのだなと思いました。1つの建物をたてるのに想像できないほどの方々の技術や苦勞があつて成り立つのだなと感じました。また、秋山工務店のみなさんは私たちに対しても優しく、快く迎えてくださり、不安だった気持ちがずっと消えて楽しく現場見学ができたことに感謝したいです。学んだことを無駄にしないよう2級建築士の試験に向けて頑張ります。

(株)秋山工務店(日立)にて実習)

建築設計科2年

三代 昌尚

私は今回多賀土木株式会社様のインターンシップに参加しました。インターンシップを通して、労働の大変さや、大切さについて見聞を深めることができました。

例として上げると、1日目の午前中はトランシット測量を学び、正しい測量のやり方を学ぶことができました。機械セットの方法や高さの測量の方法などを学び、1ミリの誤差も許されない厳しさ、正式な覗き方、機械の操作方法等様々な事について学習することができました。午後はCAD実習をしました。普段学校では学ぶ機会のない足場の配置計画などの実務的な作業について学ぶことができ、今後このような職種に就いた際にとっても役に立つだろうと思いました。

2日目では、実際に新築工事で使われる鉄骨の製作工場の見学に行き、工場内の案内や溶接加工を見学しました。加工の終わった大きな梁を見て私は、この梁がどの様に実際建物として建つのか、とても興味が湧きました。そして、実習として溶接も体験させて頂きました。凄く難しかったけど、体験出来て良かったです。午後は、レベル測量をしました。操作方法が難しかったが担当の方が丁寧に教えてくれたので理解する事が増した。そして1日目実施したトランシット測量の復習を行い、床から1メートルの所で柱に印を付ける実習をしました。最初は、凄く難しく頭を使いましたが、トランシットを使っていくにつれて理解して行きました。

そして、最終日では、多賀土木株式会社の方々が仕事をしてきた現場を各所見学しました。

私はこの3日間で建築について、より興味をもち普段学ぶことのできない事や、経験が出来良かったです。 (多賀土木(株)にて実習)

建築設計科2年

森山翔太

私は今回、建築業インターンシップで株木建設株式会社様に行きました。実習内容は主に業務内容の説明、現場見学でした。

1日目は業務内容、特に現場監督について説明を受け、午後は施工図の書き方について指導をしていただきました。午前の説明では現場で使うマスター工程表、月間工程表、週間工程表の3つの工程表の重要性やアクシデントが起きた時の対応力が現場監督には必要であり、工事全体を把握することが大切だと感じました。また計画をフィードバックするという考え方は、現在の自分には必要な考えだと思うので卒業設計でも実践したいです。現場では新人の方が工事の写真を撮っていました。そうすることで、

計画通り進めていることを証明し、仕事を早く覚えさせるそうです。午後は施工図の説明を受け、普段書いている設計図より細かく書かれていました。施工図を描くには意匠図を読み取り、施工図に反映させる技術が必要だと思いました。

2日目は日立メディカル看護専門学校の校舎増設工事の現場を見学させて頂きました。ここでは既存の学校が近接していたため、騒音振動や臭気、現場での事故を防ぐために配慮されていました。また増築工事ということで資材置き場の確保や重機の設置場所など敷地面積に合わせた対応が必要だということ学びました。

3日目は小美玉市立玉里学園義務教育校舎の新築工事の現場を見学しました。この現場は小中一貫校だったため面積が広く、多くの職人さんが現場へ来ていました。そのため昼礼ではそれぞれの作業場所の確認、注意事項を確認することで安全の確保をしていたため、やはり現場監督には現場全体を把握する力が必要だと感じました。

この3日間のインターンシップを通して、現場監督に求められるものは非常に多く、配慮しなければいけない点は、現場の外にもあることを知りました。責任が大きく、大変な仕事だとは思いましたが、同じくらいやりがいのある仕事だと感じました。以上のことから、このインターンを通して建築に対する興味をさらに深めることができ、今後活かしていこうと思いました。 (株木建設(株)にて実習)

建築設計科2年

和田圭冬

インターンシップに行くと、私は多くのことを学びました。最初は緊張していたのですが、現場の方々は皆さん優しく、すぐになじめて

聞きたいことを沢山聞けました。現場監督の方と話をできる機会はめったにないと思い、仕事の内容や人間性、今の建築業界の状況など、本当に身になるお話を沢山聞けてくれました。機会があれば、もっと違うこともたくさん話したいと思える現場監督の中林さんの人柄がすごく大きく感じました。これからの自分を見つめる大事な時間だったと思います。

現場では、その時に応じて様々な対応をしている現場の方々を見て、やはり現場では経験がものをいうと思いました。今習っている勉強でも、実際にモノがあると、これがあれだったのかと気付くところもたくさんあり、建物を建てる上での法律の分厚い本が何冊もあり、それをきちんと使えるようになり、ミスを見つけることも大変だと思いました。今回の現場のすぐ隣で、小学生たちが元気に運動会の練習をしている、そのような場所で働いていると、少しでも元気になれるような気がしました。やはり、仕事のやりがいは終わった後の達成感と後日その建物を見にいった時は、やってよかったと思えるとおっしゃっていました。そして、そこでもきた人と人との繋がりや出会いが仕事をしながら楽しいと言っていました。それを聞き、自分も確かにそうだなと思い、これからやってくる縁を大切にしたいと思いました。

今自分が学校の課題などで、てこずっていることは、大人になればいいことではないけれど、今までもこれからも、沢山のことを学び、悩み沢山のことを学びたいと思います。

この3日間は今の自分にはとても濃厚な時間となりました。 (株)岡部工務店にて実習)

建築設計科2年

渡 邊 勇 人

3日間のインターンシップを終えて思ったこ

とは、藤井建設株式会社様でとても良かったと思いました。まず、会社の雰囲気がとても良く、良い人たちがばかりでとても充実したインターンシップになりました。

1日目は、会社の方針として7時55分に朝礼を行い、その日の流れについて説明されました。午前には会社についての説明で、仕事内容、お給料の話、休日の話をされました。仕事内容は一般的に土木関係で、躯体工事や型枠工事がメインでした。お給料は求人票の通りでかつ、ボーナスも支給され、期末賞与もあると説明を受けました。休日は、最近働き方改革が進んでおり、現状では日曜日は基本的に休みで、第2土曜日と第4土曜日が休みですけど、私たちが就職するころはさらに、休みが充実することが期待されます。有給については、新入社員半年後から10日間与えられるとのこと。さらにリフレッシュ休暇と言って、長期現場を終了後3、4日間、長くて1週間の休暇を与えられ、とても安定した会社だと思いました。午後からは塔ヶ崎ICと鉾田ICの型枠工事の現場を見学しました。実際の工事現場を見に行きました。型枠工事をする人で本校の卒業生がいて、その方が現場作業について説明してくれました。高速道路の柱となる部分を作っていて1つ作るのに大体3日間かかると言われ大変だと思いました。

2日目は、午前に昭和建設にインターンシップに行った人たちと一緒に、昭和建設のコンクリート研究所でコンクリートの作り方について説明されました。機械と工場がたくさんあり、細かく作業をしていて難しいと思いました。次に湘栄産業の足場が置いてある事務所を見学しに行きました。午後からは、会社に戻り、会社の施工検討会に見学として参加しました。私にはとても難しいことを検討していて、社長と工

事長が話し合っていました。

3日目は、午前午後とともに、現場見学に行きました。午前は、常陸那珂港の防波堤を見学しました。様々な会社が集まっていて、とても規模が大きい現場だと思いました。次に、ごみ収集所の灰を15年間置くことができる建物を見学しました。15年後に灰の上に土を埋め、そこに体育館を作る計画も進んでいて、素晴らしいと思いました。午後からは、ひたちなかの浄化水場を見学しました。ひたちなか市民が水道水を利用するために作っていて、人のために何かをすることは大事だと思いました。

3日間を通して、とても楽しく、現場のことを学べてよかったです。頑張って卒業をして藤井建設株式会社に就職したいと思いました。

(藤井建設(株)にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

五十嵐 京

1. 参加日時・参加場所

10月7日／城里町新ごみ処理施設建設工事作業所

2. 体験内容

午前→立面図・平面図拝見、ドア設置予定場所の計測

午後→施工図拝見、建設現場の写真撮影

3. 感想

3日間体験する予定でしたが1日しか行けず、あまり体験はできませんでした。朝早く現場に集まり朝礼は正直、朝に弱い私にはかなりツラかった。朝礼が終わると、事務所に入り施工図を見せてくれた。平面図や立面図だけでなく、いろんな種類の図面があったがよくわからないものもあったのでもっと勉強しなければいけないと思った。たった1日だけの体験でしたが現場の雰囲気や大変なことがわかりました。

ありがとうございました。

(コスモ総合建設(株)にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

岩崎 廉

私は、株式会社河野工務店様にインターンシップに行きました。河野工務店には高校生時代の友人が働いており、話に聞いていたのでインターンシップに行きました。

1日目は、友人のいる現場でした。高校生の時では考えられないほどしっかりと仕事をしていて、これが働くことかと思いました。私たちは、河川のごみ拾いをしました。一番初めにやる大事なことだと教わりました。ワンダーコアなどあるはずがないゴミが落ちていて驚きました。午後は生コン、セメント工業とアスファルト工業を見学しました。色々な工場の仕組みを知りました。

2日目は、まずAuto CADに触れさせてもらいました。打ち込むと自動的に立ちあがりすごかったです。でもその前は結局jw-CADなどで図面を書くと聞いて、今のうちからやっておいてよかったと思いました。午後は歴史館を見に行きました。中の構造や材料など教わりました。コンクリート壁に木目を入れていて、そのやり方を知って、おしゃれだなと思いました。浄水の復旧工事では、沈没してダメになったものを新しくいく対策の工事をしていました。雨で見学だけだったけれど普段見られないのを見られました。

3日目は、道路工事現場に行きました。そこでは測量をやりました。授業でやったのを活かしながら知らないことを教わりました。計算の仕方やどのような仕事なのか理解しました。計算をミスしまうと、くるってしまうから注意深くやるように頭に入れておきたい。午後は体育

館の工事現場を見ました。雨が強くて上って見学ができませんでした。話を聞く限り、やはり雨だと共同でやっているほかの企業も休みになると知りました。その理由も知り大変だと改めて思った。

このインターンを得て知らなかったことを知り、現場の雰囲気や内容、どの様な仕事を何個受け持っているのかなど、色々と驚きました。みんな優しく、自分の経験を教えてくれて、現場監督も悪いものじゃないと思えるようになりました。どこに就職するかまだ分からないけど、現場監督も視野に入れていいと思いました。3日間だけ良い経験になりました。

(株)河野工務店にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

太田 真由香

私は今回のインターンシップで主に「社会について」「設計図の書き方」「現場を見る」をしました。インターンシップでは元々、社会の厳しさを学びたいと思っていました。社会に出たからの言葉遣いやあいさつをするという基本的なことから、仕事で行き詰った時の方法など、これからとても大切でかつ、活かせることをたくさん教えていただきました。

設計図についてはまず、CADの復習、そして応用を教えてくださいました。仕事でもきつとCADを使う機会は多いと思っているので、今からでも学んだことを活かしながら身に付けていきたいです。また、他にも実際にエスキスや設計図をかきました。学校で学んだにもかかわらず、全然身につけていないことを改めて実感した時間でした。この学生の期間が有意義な時間だったと思えるように、これからも過ごしていきたいと改めて感じました。

2日目の午後だけではありましたが、現場を

実際に見ることができました。その現場ではコンクリートの養生をしているときだったので、実際の現場の雰囲気や仕事をみることはできませんでしたが、設計図や施工図などを見ながら現場を見ることができ、貴重な体験になりました。

その他にも今まで作った建物の設計図なども見ることができました。実際に設計図をかいた方に、設計図かくにあたって苦労したことや、どの建物が一番やりがいを感じたかなど多くのこと聞くことができました。

このインターンシップでは、今後就職活動をしていくにあたって活かすことのできることを多く教わりました。就職活動についてはもちろんのこと、就職してからも今回学んだことを忘れずにしっかり学んでいこうと思います。

(常総開発工業(株)にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

岡部 晴斗

私は今回、インターンシップで株木建設株式会社様に参加しました。最初は少し緊張があり、上手く参加出来るか不安でしたが、1つ1つ丁寧に説明して頂き、とても充実した3日間になりました。

1日目は午前午後ともに説明、学習でした。会社の仕事内容や現場の流れ、施工図の描き方、手順などを事細かに説明して頂きました。新しく学べたことや復習として学習することも出来たので、とても勉強になりました。

2日目は午前現場の説明、午後は実際に現場の見学に行きました。現場は日立メディカル作業所という看護専門学校の増築作業でした。建物はほとんど仕上げに取り掛かっている状態でしたが、実物を見ることで午前の時の内容がより鮮明に伝わってきました。ただ単に作業す

るだけではなく、在籍中の生徒に迷惑が掛からないように工夫がしてあり、凄いと感じました。勿論、作業の1つ1つも丁寧にこなしており、美しいと感じました。塗装の匂いや現場の作業音、作業員の方の出入りなど実際に見る事で改めて凄いと感じることが出来ました。

3日目も同じく午前現場説明、午後現場見学でした。現場は玉里学園という小中一貫の学校でした。小中一貫ということもあり現場の規模がとても大きく圧倒されました。教室の配置や体育館の計算された広さ、音楽室の防音など、それぞれの場所でそれぞれの工夫がありとても勉強になりました。昼食の後には、昼礼に参加させて頂くことが出来ました。昼礼では午後の作業内容や注意点、明日の作業内容や配置などを詳しく聞くことが出来ました。この会議の中心となる現場監督の方は、本校の卒業生の後藤さんでした。同じ学校の卒業生として活躍している姿がとても輝いて見えました。

今回のインターンシップを通して学校では学べないリアルな内容や現場でしか感じる事の出来ない感覚を味わうことが出来ました。この貴重な経験を活かして今後の学校生活や将来の仕事に繋げていけるように頑張っていきたいと思います。

(株木建設(株)にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

小 田 翔七恵

今回インターンシップで私は、株式会社秋山工務店様に3日間行きました。

1日目は、初めてのインターンシップということもあり、少し緊張しましたが、根本さんや玉川さん、町島さんを中心に、建設業の方々が温かく迎えて下さったお陰で、とてもリラックスして研修に望む事が出来ました。根本さんはとても親切な方で、知識がまだ備わっていない

私達に、一から建設業の仕組みや工程表の流れ、現場の状況等を分かりやすく丁寧に指導して下さいたり、私分からない事があって質問した時も、理解出来るまで根気強く教えて下さったりなど、とても親切に接して下さいました。1日目に見学した場所は、勝田駅付近のマンションの新築工事で、まだ中の構造などが剥き出しになったままの貴重な状態を見学することが出来ました。また、現場の流れや一人一人がどのような作業をしているのか、1日を通してじっくり学ぶことができ良い勉強になったと思います。

2日目は、秋山工務店さんが受け持っている、様々な現場を見学に行きました。特に一番楽しかった現場先は、体育館の改修工事でした。普段は絶対に上ることができない天井付近の足場が組まれている所に上って、天井からの高さを楽しんだり、滑らないように気を付けながら足場の上を歩いたりする貴重な体験ができたのがとても楽しかったです。

3日目は、1日目と同じ新築マンション工場の現場で確認検査がどのように行われているのかを見学しました。その日は雨風が強く天候がとても悪かったのですが、天候をものともしない雰囲気です。淡々と作業を進めている姿を見て、改めて現場の大変さを痛感させられました。

私は鉄筋コンクリート造よりも木造の方が好きでしたが、今回のインターンシップを通して、鉄筋コンクリート造の良さも知ることが出来て、研修先が秋山工務店さんで本当に良かったと思いました。今回学んだ事を、将来何かに活かしていけたら良いと思います。

(株秋山工務店(日立)にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

川島 翔

今回、インターンシップとして私は株式会社関根工務店様へ伺った。その中で感じたことが2つある。

1つ目は現場での雰囲気についてだ。インターンシップ前は、危険な区域での作業があるということもあり、少し怖いくらいかと考えていたが、実際に行ってみると安全面を考慮し、注意するなどの緊張感を持った作業現場ではあったが、作業員間の雰囲気は非常に明るく、楽しそうだとさえ感じるほどに良い雰囲気や環境で作業を行っていた。本校の卒業生だという現場3年目の先輩も居たので、色々と伺った際も「まだまだ学ぶことがたくさんある。叱られることもあるが現場は楽しい」と話していた。それを聞いて、自分の中での現場のイメージというものが全く違うものだったことに驚いた。

2つ目は安全面を第一に考えながら作業を行っていることについてだ。実際に見てみることで現場では様々な危険な道具、それに伴った作業や空間がたくさんあることに気付いた。作業員は作業を行う際に必ず安全を確保できているかを確認し、危険であれば他の作業員への伝達、指示をしながら作業を行っていた。これは職場でのコミュニケーションがしっかりと取れていなければ難しいことであり、普段から安全面への意識が高いということが現場を見て分かった。自分の中でも作業を見ていて緊張感を感じることが多かったのだが、作業員の安全確保行為によって、周りも安心してみることできるというような安心感に気づき、作業は現場の安全だけではなく、周辺住民への配慮も兼ねているのだと感心した。

2つの点以外にも気付いたこと、考えたことはたくさんあるが、インターンシップを終えて

みるとやはり、実際に現場を見てみないとわからない点や知らなかったことがたくさんあるのだと感じた。今回インターンシップにご協力頂いた関根工務店様には感謝し、建築業に携わることがいかに大変なのかを改めて実感すると共に、今後の自分の考え方や、知識にしっかりと役立てていきたいと思う。

(株)関根工務店にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

黒澤 佑京

私はインターンシップで、株式会社大貫工務店様に3日間お邪魔させていただきました。建築・土木・住宅など様々な現場を見させていただきました。

まず、1日目の午前には自己紹介や社長からお話をいただきました。社長からのお話で、自分が思っている事の甘さや成功とは何かなど、建築とは関係なしに生きていく上で重要なことを学びました。とても話し方が上手で人の上に立つ人の在り方がうかがえました。午後には五月女生コンの水戸工場に行きました。お話を伺っただけで、自分の仕事に誇りをもって務めている、仕事が好きなのが分かりました。私も将来誇りをもって、自分の仕事に努めたいと思いました。

次に、2日目の午前には土木工事の那珂湊大橋付帯工事現場を見学しました。あいにくの雨だったため、橋の上を見学することが出来ませんでした。製品の工場検査のリモート検査に立ち会うことが出来ました。初めてのリモートだったこともあり、スムーズには行うことが出来なかったようですが、これからの時代リモートで検査することが多くなっていくことが予想されると思うので、リモートの課題が見ることが出来て、これからのためになると思いまし

た。検査自体の内容は、塗料の厚さや、部材の長さ、手摺の間隔などをチェックしていました。JIS規格のほかに会社なりの規格があり、依頼する会社によって細かな違いが出るのが分かりました。午後に見学した現場は、建築工事の小川文化センター耐震、改修工事現場を見学しました。ここで学んだことは、設計図通りに現場は動かないということです。建築物を建てたときの設計図はあるが、いざ解体してみると問題が出てきてしまうことがあると教えてもらいました。ましてや工程表通りいくことは絶対とっていい程無いそうですが、そこから考えることで創意工夫が生まれ、良い建築物になるということも学びました。耐震工事ということで、天井のボードをきっちり隙間なく埋めるのではなく、少し隙間をあけることで地震があってもボードが落ちる、割れる等の被害がなくなることが分かりました。このようなものを見ると、設計図しか書いてなく、現場を見たことのない人は、いい設計図が書けないなと思いました。

3日目の午前は、建築工事の大洗町ビーチテニスクラブ増築工事現場を見学しました。この日もあいにくの雨で測量の自習を行う予定でしたが、行うことが出来ませんでした。午後は、私が一番興味があった住宅展示場を見学することが出来ました。私は将来住宅に関わる仕事に就きたいと思っているため、とてもためになる話をいただきました。

最後にインターンシップを通して、設計者は現場への理解をしなくてはならない。現場は常に変化をしているため臨機応変に対応しなくてはならない。仕事は大変で責任が付きまとうが達成感がある。コミュニケーションが無くては素晴らしい現場は出来上がらない。大まかに以上のことを学びました。とてもためになるインターンシップになりました。お世話になった大

貫工務店様ありがとうございました。

(株)大貫工務店にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

黒澤一矢

私は先日、株式会社河野工務店様で、3日間のインターンシップに参加しました。

1日目は、午前7時半ごろに会社に到着しました。いつもより朝は早かったため、気が抜けていないか心配でしたが、第一印象が悪く映らないよう気を引き締めて向かいました。担当の方が来てくださると、はじめに名刺交換のやり方から教えてくださいました。私は名刺を持っておらず、初めての体験だったため、とてもいい経験となりました。この日は現場実習と生コンとアスファルトの工場見学をしました。現場実習では河川工事を見ました。初めて現場の空気感を体感することができました。工場見学ではセメントなどはたくさんの種類があり、ごみを減らす工夫がしてあることが分かりました。

2日目は、住宅部と2つの現場を見学しました。住宅部では、100万円ほどするCADに触れさせていただきました。普段自分たちが使うものよりイメージが湧きやすく、とても貴重な経験となりました。現場実習では、特に東海村交流館新築工事の印象が残りました。大きな建築会社も入っており、茨城県ではあまり見られないような大きな建物でした。内装は途中ででしたが、先に屋根ができており、とても迫力がありました。完成したら絶対に見に行きたいと思いました。

3日目は、測量と現場を2つ見ました。測量はやったことがなく、初めての経験でしたが、実際に体験することで、計算方法なども良く分かったので印象に残りました。現場では、現場監督とお話しできる時間があつたのですが、皆

さん優しくて、建築業界の面白いところや、厳しいところなどを教えていただきました。

この3日間を通して感じたことは、現場監督の方は様々な現場を仕切るため、たくさんの知識が必要となり、日々勉強が必要だと感じました。また、お忙しい中このような時間をつくってくださった関係者の皆様に心から感謝しています。とても貴重な経験となりました。

(株河野工務店にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

清水 さんご

メンバーは清水、田中、川島の3名。場所は東水戸にある川崎製麺所です。今回教えていただいたのは現場監督16年のベテラン大谷さんと私たち水戸日建工科専門学校の先輩でもある粉川さんの二名です。現場では大型のクレーンが入っており、初めて下から見上げるクレーンの大きさに驚きました。

1日目は天気も良く、外で測量のやり方やトランシットのやり方を学びました。初めての測量でしたが、コンクリートで固められた平行な地盤でありながらレベルをとるのが難しく、地盤が悪いところで測量をするのは、とても大変だと実感しました。しばらく測量の練習した後、今回の川崎製麺所の完成予定の平面図を拝見しながら、今回の建て方の説明、システム工法を使っていること、なぜコンクリートとベニアの間に基礎パッキンを使用するのか、風が強い日はどのようなことに気を付けるのかなど、いつも学校の授業で学んでいたことの1年分の知識を1日で学んだようなとても勉強になる1日でした。

今まで施工管理という仕事をぼんやりとしか理解できておらず、2日目に施工管理の大谷さんのお話をお伺いする中で、図面に書いていな

い収まりなどを考えたり、CADで寸法などを書いた図面を作成したり、木材の発注や確認をしたりと本当に施工管理の仕事は多種多様で、その中でも大谷さんが一番大事にしているのは、現場で働いているスタッフの「安全」だとおっしゃっていました。安全を徹底するために、大工さんや玉掛さん、材木屋さん、様々な人とのコミュニケーションととても大事になさっていました。こちらからすると、ただの世間話しや、些細な声掛けなのですが、その小さな声掛けのおかげで相手もミスしていることに気づき、再度確認するキッカケにつながっているだろうと思うと、本当にいろんなところに目を配らないといけない仕事だと思いました。

3日間の短い間でしたが、何もないところから建物が出来上がるのを見るのは、本当に面白く上水戸の市営住宅や助川邸の新築見学など普段することのできない貴重な体験をしました。そしてインターンという制度はとても素晴らしく、仕事をする前にその仕事に対して深く知ることができるとてもいい制度だと思いました。この度は本当に最高の機会をいただきありがとうございました。(株関根工務店にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

菅野 正 揮

今回、建設業インターシップを3日間行ってみて、とてもいい経験ができたと思います。

1日目は、株式会社岡部工務店様が何を作ったのか何をしているのかを教えてもらいました。その後現場に行き、現場で何を行われているのか説明を受けた後に現場の中に行き、見学をして色々な部材の名前や足場の名前、その足場をいつどこで使うのかを教えてもらいました。また、建築業界について色々教えてもらいました。この時は、芳野小学校の体育館の改装

立原章義

工事をやっていて、体育館のどこを改装するの
かを実際に見に行き、色々な説明やどの様に改
装するのかを教えてもらい、見学をしました。

2日目は、1日目と同様に大規模改修工事の
中の見学と、部材の名前や建築業界について教
えてもらいました。また、墨引きなどの、実際
に使われているものを実際に使用し、色々な職
人さんの話を聞いて、どういうことをやってい
るのかを教えてもらいました。現場監督の方の
話を聞いて、現場監督はどの様なことをしてい
るのか聞いてみたり、これまでどの様なことを
して現場監督になったのかを聞いたり、今まで
で一番つらかったことや楽しかった事、めった
にできない体験話をさせていただきました。

3日目は、現場でしていることを記録する写
真撮影をしました。現場監督の指示に従って、
色々な角度から撮影したりしました。また、墨
引きを2日目同様にやっていました。今では墨
引きをするときに、実際に墨を使ってやること
が多いが、現場監督の方が電気で墨引きした
いところに表示される機械を見せてもらい、とて
もいいものを見せてもらいました。

今回建設業インターンシップを3日間行って
みて、とても貴重な体験をさせていただきました。

(株岡部工務店にて実習)



私はこの3日間で沢山のことが分かり勉強に
なりました。

1日目の午前は那珂湊の埋め立て工事を見学
させていただきました。4社協力して1つのこと
をやっている事の言葉(JV)を知りました。
埋め立て工事の際に、たくさんのことを学びま
した。耐震性、コンクリートのやり方などを教
えてもらいました。前に前に置いていって陸地
になるように感じになっていくことを知る事がで
きました。その後、プール施設を見学させても
もらいました。現在だとプール自体がプラスチッ
クでやっていることを知り、自分が通っていた
時のプールはコンクリートのものだったので、
今と昔では違うことがわかりました。プール工
事は初めてだったので、この様な感じでやって
いるだと感じとれることができました。平面図
の寸法とは全然違うところがあり、瞬時に判断
して会議などで話をしていること、少しではあ
りませんが聞こえていたので、自分で判断も知
識が必要ということが感じました。

2、3日目は同じ場所の見学、学校でやっ
ているCADとは全く違う細かい所までの平面
図、立面図、断面図を見せてもらい、細か
すぎて驚きました。仕事をし始めたら、細かい
CADまでやるのだと感じました。2、3日目
の仕事の速さが全然違うので、最後にも見学を
させてもらったときには、あっという間に説明
された場所が終わっていたので、効率よくやっ
ていることがわかりました。最後に現場に出る
と難しいことがわかりました。

(株大曾根建設にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

成井 怜央

私は3日間、株式会社大曽根建設様に行きました。最初私は建築インテリアデザイン科なので建設会社に、インターンシップに行くのはとても不安でした。今回の現場見学などで、何を学んだらいいのか、何を覚えたら就職に活かされるのかわかりませんでした。当日、現場見学の場所について、(広い)(大きい)(知らないものだらけ)と自分はこの2年間なにをしていたのだと実感しました。なので、現地での説明などをしっかり聞こうと思いました。

1日目は、阿字ヶ浦の海の埋め立て地に行きました。そこの現場では、海岸の波けしブロックの工事を見学してきました。生コンの試験、コンクリートの強度、建設に必要な鉄筋、建設に携わる色々な職種の人達。何もかもが新鮮で興味深い話でした。一つのものを作り上げるのにたくさんの人が、関わっていることを改めて認識しました。

2日目は、平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校の現場に行きました。ひたちなか市の人口は、横ばい状況が続いており、平磯・磯崎・阿字ヶ浦区における人口が、減少傾向にあります。なので、小中一貫の学校になったそうです。自分は、その中でプール棟の現場を見学しました。一つ一つ細かいところまで工夫がされており、圧倒されました。プールの水槽の部屋は、屋内プールなので屋根がついているので、直射日光が当たらないのと空間が暗くなってしまうので、屋根の一部を透明な板を張り付けて、日光が当たるように工夫されていたし、目洗いやシャワー室、手洗い場の角が丸くなっていて、小学生などがケガしないようになっていて、各部屋を防音にするための断熱材を使用したりなど、様々な工夫されていました。

3日目は、CADの図面作成と測量をやりました。CADは、学校の授業でやっていたので、少しはできると思ってはいたけれど、学校でやっていた図面ではなく、さらに難しくて全然できませんでした。測量は、はじめてだったので最初は難しく覚えていられなかったけれど、だんだんやるうちに覚えていきました。

この3日間を通して現場監督の道も少しありなのかなと思いました。この経験はこれから先こんな経験は二度とないと思うのでこれからの人生に活かしていきたいと思います。

(株)大曽根建設にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

根本 和希

私は、株式会社河野工務店様にインターンシップとしてお世話になり、3日間のインターンシップで現場監督としての仕事、一緒に仕事をする他社についてなどを学びました。

1日目では、担当の方が仕事をしている河川の補強工事を見学に行きました。そこでは3キロを5年かけて工事する大きな工事でした。現場監督の方が別の会社の方にも確認や指示を出したりしていて、責任感が必要な仕事だと思いました。その日には、生コンの工場とセメントの会社を見学させられました。どちらの会社も地域と密な関係で仕事をしていて、会社と地域の関係の大切さを学びました。

2日目は、河野工務店の設計事務所を見学しました。設計担当の方は1人で多くの仕事を請け負っていて、とても大変な仕事だと思いました。また、仕事で使っている3DCADを体験させてもらいました。学校で使っているCADより機能がすごく、楽しかったです。午後には東海で建設中の歴史館を見学しました。梓設計が設計を担当していて、屋根が大きく特徴的な

デザインをされていてすごかったです。工事中の中を見学させてもらい、見たときは塗装などをしていました。授業などで聞いた材料を実際に見られ、あまり見ることもないところを見学出来てよかったです。

3日目は、工事中の道路を見学して測量を体験しました。実際にやることで測量の大切さを知りました。東海の体育館を見学しました。雨が降っていたので足場には登れなかったけど、とても怖い場所だと見ているだけで感じました。

インターンシップを終えて、1つの工事で多くの職人や作業する人がいて、現場監督の人が細かいところまでしっかり確認し、安全第一で仕事をするものの大切さを学びました。いい体験ができてよかったです。

(株)河野工務店にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

沼田 麻彩

私は常総開発工業株式会社様にインターンシップに行きました。

1日目は、最初に本社でお話を聞きました。常総開発工業さんが建てた建物やどんな仕事をしているか、会社の雰囲気について説明してくださいました。私の地元にある鹿島サッカースタジアムの屋根の修理もしていて、なじみのある建物なので、すごいと思いました。午後からはさっそく現場に行きました。潮来の新島中学校の体育館の改修工事でした。現場に入って見る建物は大きくて迫力がありました。最初は現場の周りを説明しながら案内してくださいました。授業で言っていた部材とかは、これだったのかと結びつきました。

2日目は最初から現場に行き、朝会にでました。晴れていたら外でラジオ体操をするのですが、2日とも雨なので、それはできませんで

た。朝礼で職人さんたちの前で自己紹介をするのは少し緊張しました。体育館の端の部屋の墨出しと測量をやりました。1mmもずらしちゃだめだよと何回も教えていただき、こんなに細かく仕事をするのだと思いました。女性が現場監督になったら、測量の仕事が多いとおっしゃっていたので、がんばります。休憩のときはみんなが休憩している部屋に連れていっていただき、職人さんたちとも少しお話しをすることができました。お昼ごはんのお弁当はとてご飯が多かったのですが、やる気を込めて全部いただきました。

3日目は体育館の天井の墨出し、測量をやりました。安全帯を付けて高いところまで昇りました。現場の人たちはやっぱり慣れているので、不安定な足場や頭より、下に鉄筋があっても、すいすい進んでいました。安全大会があり、みんなで一斉清掃をやりました。そのあと色々な人が来て、安全の点検をして会議で発表をしていました。安全のために、このようなことをしているのかと勉強になりました。お昼は高いお寿司屋さん連れてっていただき、マグロがとってもおいしかったです。

現場監督さんはみんなに色々な質問されたことをすぐに答えていて、みんなの安全にもとても気をつけていました。私たちが墨出しをしたときに、沼田さんが墨出したところ、そのまま使って建てていくからねと言っていただき、責任感を感じたのと、まかせてもらえたうれしさを感じ、とてもかっこいい仕事だなとおもいました。

(常総開発工業(株)にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

宮本 優哉

私は、株式会社大貫工務店様にインターンシップに行ってきました。

吉川 廉

1日目は、事務所に挨拶をしに行き、挨拶は社会の基本と教わりました。それから生コンクリート工場の見学に行き、設備の検査やコンクリートの作り方などを教わりました。コンクリートは湿度や温度で強度が変わってくるので、温度変化の少ない部屋で保管することが分かりました。生コンクリートの仕事のやりがいを知ると、完成したコンクリートを見ることで上手くやれたという快感だそうです。

2日目の午前、オンライン会議をするとのことだったので、それを見学させていただきました。会議の内容がオンラインで、取引先の商品の寸法や質の確認でした。そこには県庁の方がいて、会議の様子がよく分かりました。午後は現在建設中の橋の説明を受けました。橋の基礎を建てるのに地下21mまで掘っているそうです。それと文化センターの現場工事の見学をさせてもらいました。そこで習ったのが4W1Hです。これは、誰が、何処に、なぜ、いつ、どのような、この5つは建築をするうえで一番重要と習いました。

3日目は、テニスコートの工事を見ました。それと同時に解体作業が行われていたので、こちらも見学させてもらいました。ここでは、実際に作業を手伝わせていただきました。その作業は、鉄筋と鉄筋をハッカーで縛る作業で、作業員の皆さんは普通にやっている作業を実際に体験したら、とても難しかったです。午後は、一般住宅の見学に行きました。住宅を実際に設計しているところを見学できてとても勉強になりました。

これらのインターシップで経験したことを忘れずに建築の勉強を続けたいです。

(株)大貫工務店にて実習)

私は建設業インターンシップで3日間、株式会社大曾根建設様にお邪魔させていただきました。私の高校は、デュアルシステムという1週間に1回企業実習を行う授業がありましたが、専門的な企業実習は初めてだったため、最初は正直とても不安という気持ちが大きかったです。私がインターンシップで気になっていたことは2つあり、1つは建設業をやることでの仕事のやりがい。そしてもう1つは工事現場がどのような手順で進んでいき、どんな風に完成していくのかでした。

最初に大曾根建設の会社概要を細かく説明していただきました。色々聞いた中で驚いたのは、大曾根建設は、建築よりも鉄道関係の仕事が多いことでした。それを聞いて改めて建築は広いと思いました。そこから海岸の波けしブロックの工事を見学させていただきました。波けしブロックはとても大きくて、すごい量のコンクリートを使っていました。工事の人のお話を聞くと当たり前ですが、授業で聞いた単語が多くでてきて、改めて授業の大切さに気づきました。

2日目は平磯・磯崎。阿字ヶ浦の地区統合工のプール工事を見学させていただきました。家の近くということもあり、時々前を通っていたので、どんな工事をしているのかすごく興味があったのでとても楽しみでした。工事現場に入ると、小学校と中学校が合併しているということもあり、たくさんの人がいて、とても大きな現場でした。プール工事の見学は、トイレや更衣室シャワーなどを見て回り、部材などの説明を細かく説明していただき、とても為になりました。プールの天井は太陽光が当たるようになっていて、目洗い場やシャワーなどは角が丸

くなっていて、子供たちが怪我をしないようになっていて、色々と考えられていて、自分ではこんな細かいところ気付くことができないと、改めて自分はまだまだだと思えました。2日目の後半はCADの図面作成をしました。実際のプール工事の図面で3級を持っていない自分にはとても難しかったです。

3日目はCADの図面のデザインと測量を教えてもらいました。デザイン科ということで笠倉さんが用意してくれました。成井と一緒にデザインを考えてできた図面は、とても達成感がありました。測量では、授業での経験が全然ないので、最初から教えていただきました。丁寧にわかりやすく教えていただいたので、考えていたよりずっと早く理解することができました。

インターンシップは3日間という短い期間でしたが、社会のことや建築のことをたくさん教えていただいて、とてもありがたかったです。現場実習などは、なかなかできる機会がないので貴重な体験ができました。大曽根建設の皆様ありがとうございました。

(株)大曽根建設にて実習)

建築インテリアデザイン科2年

綿 引 陽 輝

私は株式会社浅川建設様で3日間のインターンシップを通して、学んで感じたことが大きく2つあります。

1つ目は、本物を見ることが出来たということです。それがとても大きな経験になったと思います。その理由は、今までは学校で座学を教科書で学んでいましたが、実際に本物を見ることが出来ず、学んでも頭のなかで一つ一つのものが結びつかず、完全なる理解はできませんでした。しかし、インターンシップにて現場で使われているコンクリートに振動を与えるバイブ

レーター道具や二階建て木造建築での石膏ボードや左官工事を生で本物を見ることが出来て、教科書で学んだ内容と一致し、理解することが出来ました。百聞は一見に如かずとよく言いますが、本当にその通りだと思いました。また、学校で実験やインターンシップ、現場見学会などの機会があれば、また勉強のために是非見に行きたいと思いました。

2つ目は、実際に現場で働いている人の話を聞くことが出来たことです。私がインターンシップを行った浅川建設は、設計や施工など幅広く行っている企業で、1級建築士の方や施工管理技士の方に業務内容や仕事のやりがいや大変さ、今までに取り組んできた事業についてお話しして頂きました。一番印象に残っているのは、担当者の方がアクアワールド水族館の施工に携わっていた話です。イルカショーを行う水槽の円を決めた方法を教えてくださったり、水族館の図面を見せていただいたりしました。既存の建物でなおかつ何度も足を運んだことがある場所の図面を見たときは、少し違和感がありましたが、機械室がどのようになっているのかなど、普段見ることが出来ないようなところの図面を見ることができ、とても面白かったです。

まだ働いていない不安な私たちにとって実際に働いている人の声はとてもためになることなのでよい機会だと思いました。

(株)浅川建設にて実習)

